

# よどまち さーち

## 西中島 地域

淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。第9回目は、西中島地域です。



### ①みんなで守る憩いの場

地域の人に憩いの場として親しまれている西町公園。すっかり落ち葉で覆われたこの日、小学校の全児童、PTA、地域の皆さんにより一斉清掃が行われました。世代を超えてみんなで力を合わせ、公園はあっという間にきれいになりました。地域の憩いの場である公園は、皆さんの力で守られています。



### ②ビル群の中にも歴史あり

江戸時代、たびたび起こる川の氾濫対策として幕府の許可を得られない中、3人の庄屋が主導し治水を進め、中島大水道を完成させました。しかしその責任をとり、庄屋たちが自決したという言い伝えが残っています。新大阪駅の南側のビルに囲まれた場所にある「さいのき神社」には、地域のために尽くした三庄屋が祀られています。そこだけ時間が止まったかのような静かな空間です。



### ③西中島から世界へ発信!

海外から大阪を訪れる観光客は、年間700万人を超えと言われています。観光地をめぐり、その土地の文化やまちなみに触れることを望む個人旅行者が集まる「大阪とまとゲストハウス」が、淀川に面した場所にあります。居心地の良さがネットや口コミで広がり、宿泊客の7割が外国人とのこと。「宿泊者と地域の関係性を築き、世界中に大阪を知ってもらいたい」と店主。西中島から国籍を超えた異文化交流が始まっています。

淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!



## それいけ、まさふみ!

淀川区長 榎 正文

### まちの魅力創造する2つのテーマ～人権・子育て～

21世紀の新しい人権課題とされるLGBT(性的マイノリティ)支援。淀川区役所では、まちの魅力創造のため、我が国の行政機関で初めて取り組みました。そのきっかけの一つは、ある区民の方の一言です。「淀川区は市内で一番転入が多い区だそうだけれど、昔からお住まいの人も多く何か懐かしい商店街も残っているようなところ。多くの方が短い間に次々通り過ぎるけれど、『温かく、快く受け入れる寛容さ』そういうことが住み良いまちにつながっていくの shouldn't we?』カミナリに撃たれたように感じたのを覚えています(ご本人は覚えていないと思いますが...)。お互いの様々な個性や違いを認め尊重し、協働によって良いものを創造していく社会、そんな社会を築いていきたいものです。

まちの魅力創造の2つめは「子どもの教育の充実」です。子どもは、将来この社会を支える生産者であり、消費者であり、納税者です。規範

意識を醸成し、強く生き抜く力の基礎を身に付けるために大事なものは、特に幼児期の人格形成です。淀川区は、**幼児を含む教育の充実、子どもの貧困対策を重要施策とし、子育て世帯に「ここで住みたい!」と**言っていただけまちをめざします。

**「区長とかたろう」参加者募集!** 区長の榎が直接話をうかがいます。

開催予定 12月2日・9日・16日(金)・22日(木) 17:00~17:30  
 ※公務等で開催できない場合はHP、ツイッター等でお知らせします。

場所 区役所1階ロビー お一人10分

受付 事前予約制。実施日の10日前から開催日前日の13:00までの間で予約を受付します。  
 1月開催分及び、詳細はホームページか担当まで。

担当 政策企画課(広聴)5階51番 電話6308-9683